

日本のNPO/NGOによるISO26000 についての取組の報告

- ①NSR研究会について
- ②AAR Japan[難民を助ける会]について
- ③AAR Japanにおける取組状況
 - 取組体制
 - 取組課題

NSR研究会について

NSR研究会とは

- ▶ NPOにおけるSR取り組み実践の促進と連携を促すために発足したプロジェクト
- ▶ おおむね月に1回のペースで会合を持ち、ISO26000の取組状況を相互にレビューしたり、重要課題の勉強会を開いたりしている



AAR Japanについて

▶ 世界15か国で活動する国際協力NGO



国内専従職員 47名
海外駐在員 28名



ISO26000取組方針

- ▶ 難しく考えず、とにかく着手
- ▶ なるべく負担感のないように
通常業務の一環として取り組む
通常業務のテコとして利用する



ISO26000の取組方針（体制）

- ▶ ISO26000推進委員会を組織
- ▶ 人員 5名
中核課題に関連の深い業務の担当者を選任
 - 組織統治 → 総務担当者
 - 労働慣行 → 「従業員ミーティング」リーダー
 - コミュニティ参画 → 広報・支援者担当者
- ▶ 月に1度の頻度でミーティング
進捗管理 意見交換 勉強会

組織統治

▶ ASC2012実施

説明責任を果たし得る組織体制に
なっているか自己検証



中長期計画の欠如や
文書管理規程が未整備となっている点が
問題と判明



▶ 「事務必携」アップデート

事務の効率化を図るため、規程集、書式集を更新。



4 人権

応募書類・面接方法の見直し

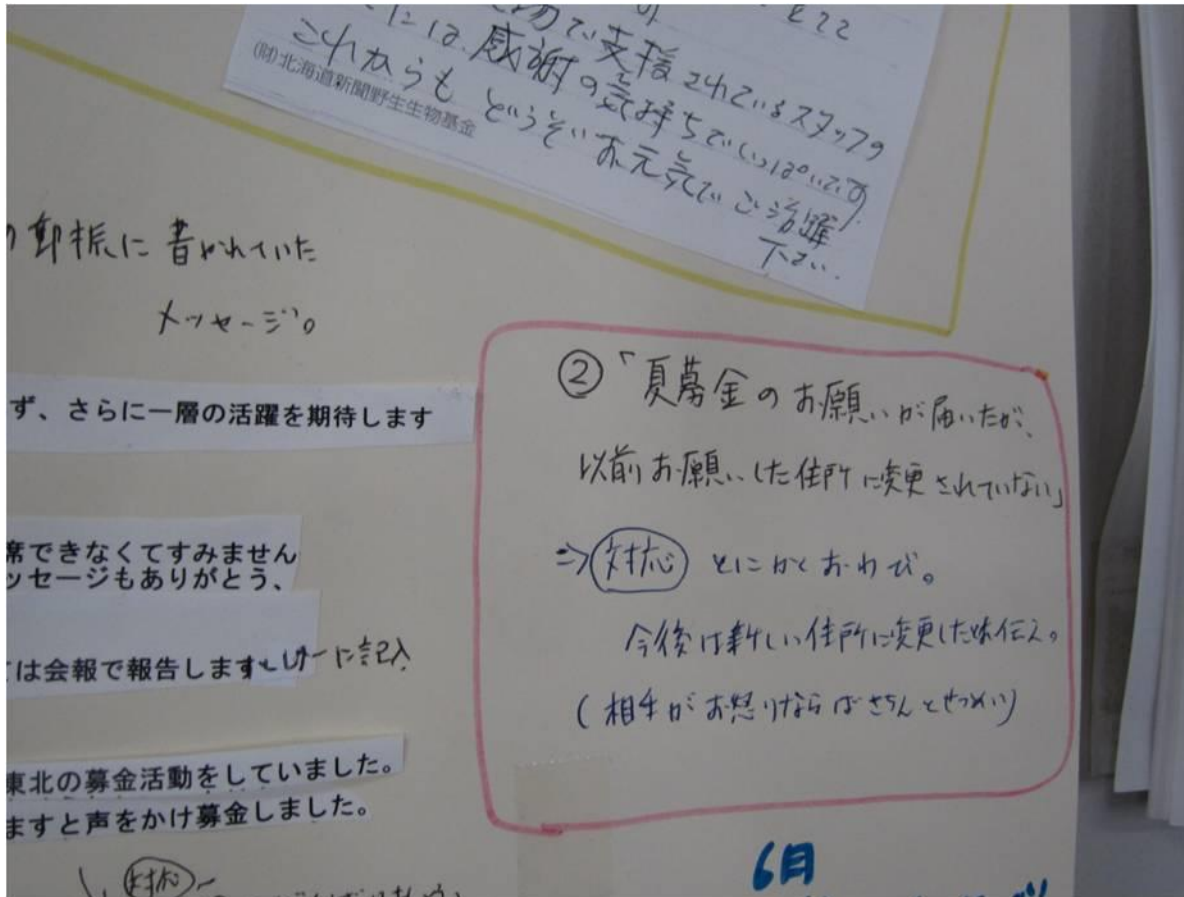
就職差別による人権侵害に加担することがないように、
応募者に記入してもらった「身上書」を人権擁護の観点から
見直し。

消費者課題



AAR Japan
Association for Aid and Relief, Japan

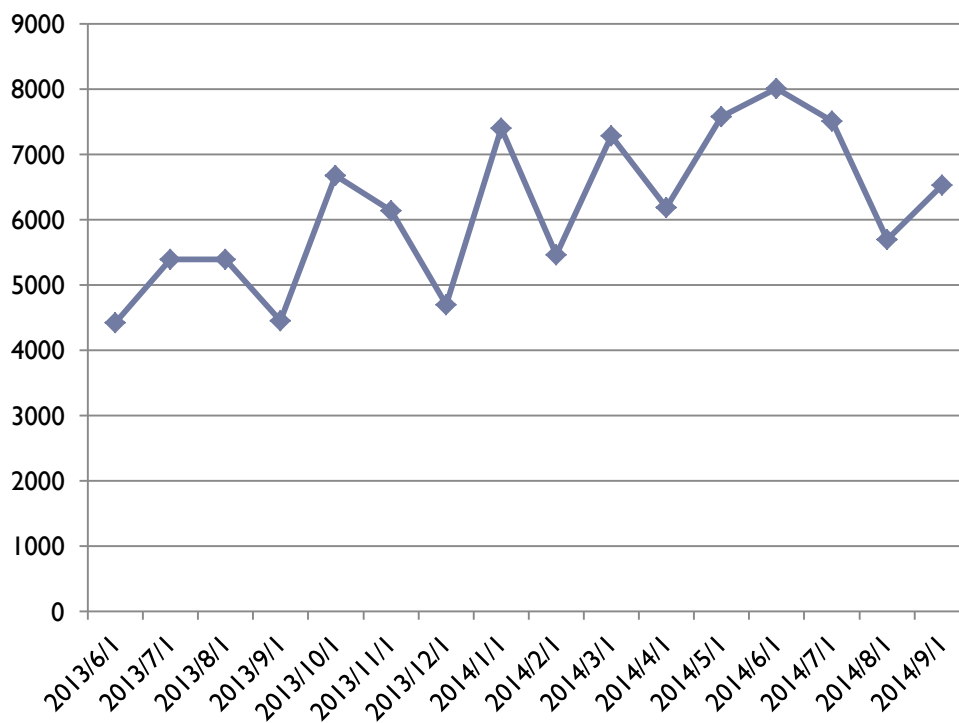
▶ ボードを設置し苦情・お褒めの言葉を共有



▶ コピー用紙の再利用とリサイクルに取り組む



- ▶ 紙の節約を意識づけるために使用量を可視化。



4 消費者課題

ホームページを介した苦情処理の検討

苦情処理窓口の拡充するため、ウェブサイトの「お問い合わせボタン」を目立つように改良



コミュニティ参画

- ▶ 本部を構える品川区にて、ボランティアセンターや品川区内の企業・NPO/NGOと積極的に情報交換
- ▶ 地域のイベントへの出展
- ▶ 地域向け団体説明会の実施(2014年12月予定)



現状と課題

- ▶ 少しずつではあるが、取組は進んでいる。
- ▶ 社会的責任の考え方が個々の職員に浸透しているのか
疑問